

## JX-ENEOSサンフラワーズがWリーグ7連覇達成

記者各位

当社(社長:杉森 務)の女子バスケットボール部「JX-ENEOSサンフラワーズ」は、昨日行なわれました第16回Wリーグプレーオフ・ファイナル第3戦におきまして、富士通レッドウェーブに60対56で勝利し、3勝0敗の成績で、7年連続、史上最多となる18回目(日本リーグ時代を含む)のWリーグ優勝を果たしましたので、お知らせします。

この優勝により、全日本総合バスケットボール選手権(皇后杯)との2冠制覇を、2年連続で達成いたしました。また、渡嘉敷来夢選手が、プレーオフにおいて最も活躍した選手に贈られる「プレーオフMVP」を受賞しました。皆様に多大なご声援をいただき、ありがとうございました。来シーズンもWリーグ8連覇および全日本総合バスケットボール選手権大会との2冠制覇を目指してまいりますので、引き続き、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

### 【プレーオフ・ファイナルの試合結果】

	日付		試合結果		
第1戦	4月2日(木)	JX-ENEOS	○	77 - 51	● 富士通
第2戦	4月4日(土)	JX-ENEOS	○	73 - 57	● 富士通
第3戦	4月5日(日)	JX-ENEOS	○	60 - 56	● 富士通

### 【第16回Wリーグ 表彰者】

<アワード>

- ・プレーオフMVP 渡嘉敷 来夢 選手 (2年ぶり2回目)
- ・レギュラーシーズンMVP 渡嘉敷 来夢 選手 (4年ぶり2回目)
- ・レギュラーシーズンベスト5 渡嘉敷 来夢 選手 (3年連続4回目)
- ・ベスト5 宮澤 夕貴 選手 (初)
- ・コーチ・オブ・ザ・イヤー 佐藤 清美 ヘッドコーチ (3年連続3回目)

<レギュラーシーズンリーダーズ(個人成績ランキングトップ)>

- ・得点 渡嘉敷 来夢 選手 (初)
- ・リバウンド 渡嘉敷 来夢 選手 (2年ぶり2回目)
- ・ブロック・ショット 渡嘉敷 来夢 選手 (3年連続4回目)
- ・フィールドゴール成功率 渡嘉敷 来夢 選手 (2年ぶり2回目)

以上

